

研究課題

～南和地域での外来抗菌薬処方量と主要病原体菌の薬剤耐性率の関連に関する検討～

(倫理審査委員会承認 受付番号 15)

研究責任者 南奈良総合医療センター 感染症内科 部長 宇野 健司

研究実施予定 データ集積 2022年3月31日までを予定。

研究内容の背景と目的

世界的に抗生物質が効かない菌(耐性菌)が蔓延傾向にあり、当院でも薬が効きにくい病原体の菌が散見されます。日本を含め、世界的にこの問題に対して対応をしようと計画されており、その解決策の一つとして抗菌薬の処方量を減らそうという事が取りざたされています。しかし、南和地域にてどのくらい抗菌薬が処方されているのか、また、どのくらい耐性菌が分離されているのかを集計したものはこれまでにありませんでした。当院は南和地域唯一の急性期病院であり、当院で多くの細菌検査が行なわれています。そこで、南和地域の抗菌薬の処方量が南和地域での主な病原体の耐性化に関連性があるのかを集計し関連性を見ようと考えています。

研究方法

当企業団での経口抗菌薬処方量を集計し、かつ南和地域での主だった薬局、医療機関に御協力を仰ぎ、一定期間中に処方された抗菌薬の量を集計します。

また当企業団で提出された微生物検査の中で、特定の菌種を選び、その薬剤耐性度に関して年次推移を検討します。

それらについて関連性があるのかを検討していきます。

集められる薬剤情報に関しては一定期間に処方された量のみを集計します。また、企業団での微生物情報に関しては微生物の耐性度のみを検討します。

これらより、個人を特定するような情報をやりとりすることはありません。

この研究は平成29年11月30日に行なわれました当院での倫理委員会(受付番号15)にて承認を受けています。